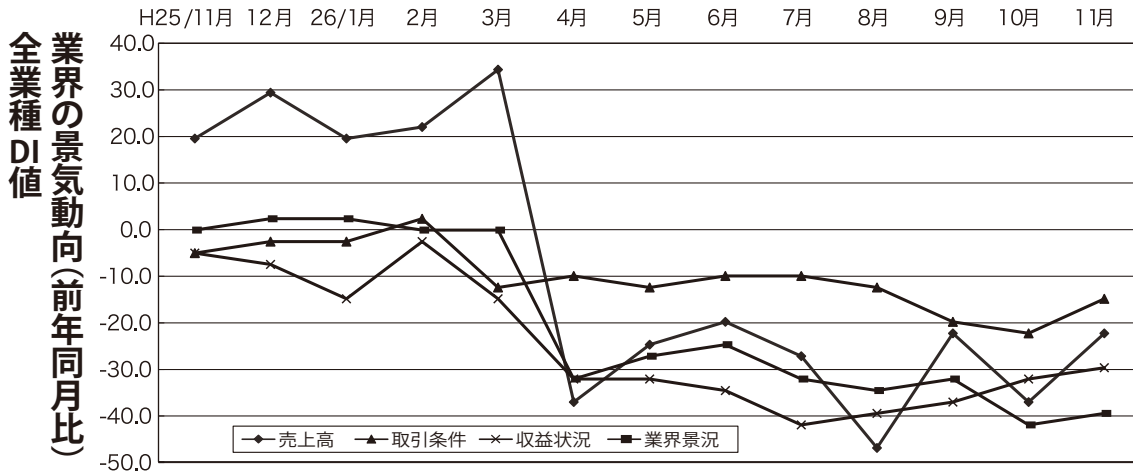


HOT VOICE

ほっと

11月の業界の動き

平成26年11月度 情報連絡員報告



	25/11月	12月	26/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	20.0	30.0	20.0	22.5	35.0	-37.5	-25.0	-20.0	-27.5	-47.5	-22.5	-37.5	-22.5	15.0
取引条件	-5.0	-2.5	-2.5	2.5	-12.5	-10.0	-12.5	-10.0	-10.0	-12.5	-20.0	-22.5	-15.0	7.5
収益状況	-5.0	-7.5	-15.0	-2.5	-15.0	-32.5	-32.5	-35.0	-42.5	-40.0	-37.5	-32.5	-30.0	2.5
業界景況	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	-32.5	-27.5	-25.0	-32.5	-35.0	-32.5	-42.5	-40.0	2.5

概況

平成26年11月の前年同月比DI値を見ると、特に「売上高」は、15.0ポイント、「販売価格」「設備操業度」は、ともに10.0ポイント上昇した。コメントからは、一般機器等は円安による影響を懸念している。

省エネが浸透してきた昨今、LED照明器具が好調(家電)

製造業

【豆腐】11月23日、24日の2日間、東京ビッグサイトにおいて、一般財団法人全国豆腐連合会主催により豆腐大豆食品フェアが開催された。2日間の入場者数は23,408人であった。

【伊賀焼】売上について、伊賀焼伝統産業会館では昨年並みとなったが、伊賀・信楽古陶館では昨年を下回った。また、伊賀焼伝統産業会館の入館者数については、11月15日と16日を文化の日として入館料無料にしたため入館者数は増加した。

【一般機器(伊勢)】4月から9月の貿易赤字が過去最大の4兆3,974億円との発表があった。円安による中小企業の経営悪化を懸念する声も聞かれる。今や日本の経済構造も変化し、円安イコール輸出増とはならず、行き過ぎた円安は弊害の方が大きい。

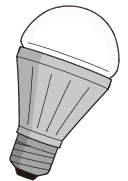
【輸送機器(鈴鹿)】鈴鹿市内の大手自動車メーカーでは一か月に2回も金曜日が休業となった。また、大規模な早期退職を募っている一次下請企業もあり、当業界の停滞感を非常に強く感じている。



非製造業

【肥料】秋・冬作の野菜作付の増加に伴い、肥料の販売はやや増加している。

【家電】11月に入っても売上げは、昨年実績を下回る傾向が続いている。省エネが浸透してきた昨今、LED照明器具が好調に推移し、経費削減の為中小問わず企業の需要が大きく伸びている。商品別では年末を迎えて大画面テレビが伸長している。冷蔵庫・エアコン・洗濯機においては、4月以降前年実績未達成が続いている。



【飲食業】原子力発電問題により、電力料金の値上げが再度行われる報道等があり、営業経費の負担増が心配される。特に、飲食店においては近年、輸入食材を中心に仕入れコストが増大しており、冬の時期を目前に燃料費の高騰や鶏卵、乳製品の品薄にも対応していかなければならず、安定した経営環境の改善が急がれているところである。

【内装工事業】11月は対前年比較で売上は増加しており、前月分のマイナス分を取り戻して年末にかけて受注が増加している。引き続き人材不足が予想され、忙しい暮れとなる状況である。